

平成 30 年度 防災・減災に関する県民意識調査結果概要

1 調査の目的及び集計結果の概要

(1) 調査の目的

- 広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の平成 30 年度の取組実績の把握
- 運動を進めるうえでの課題の抽出や、その解決方策の検討

- (ア) 対 象 者：県内在住の満 18 歳以上の男女 10,000 人
- (イ) 調査期間：平成 31 年 2 月 28 日(木)～3 月 22 日(金)
- (ウ) 有効回答数：5,598 件（回答率 56.0%）

(2) 集計結果の概要

行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果						H30 (目標)	H32 (目標)
	H26	H27 (10 月)	H28 (8 月)	H29 (2 月)	H30 (2 月)	H31 (2 月)		
災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認した人の割合	13.2%	27.0%	54.0%	60.5%	57.2%	71.2%	75.5%	90.0% 以上
防災教室・防災訓練へ参加した人の割合	35.1%	30.7%	32.9%	36.8%	39.4%	29.3%	57.0%	60.0%
非常持出品を用意している人の割合	52.8%	51.5%	65.9%	67.6%	67.4%	66.5%	—	—
上記を用意し、かつ 3 日以上以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合	—	—	—	46.7%	50.5%	48.1%	58.4%	70.0%
家具等の転倒防止を行っている人の割合	—	—	—	43.9%	56.6%	44.7%	55.0%	70.0%

行動計画に掲げる成果指標項目	H26	H27 (10 月)	H28 (9 月)	H29 (2 月)	H30 (3 月)	H31 (2 月)	H30 (目標)	H32 (目標)
県、市町の防災情報メールを登録している人の割合	8.4%	10.4%	11.3%	11.3%	22.8% (※)	27.0% (※)	31.0%	40.0%

※ ヤフーと協議し、H30.3.27 から、「ヤフー・防災速報」(スマートフォンアプリ、メール)からも県防災情報メールと同様の情報がプッシュ配信されることとなったことから、この度の数値は、防災情報メールの登録者数に「ヤフー・防災速報」登録者数を加えて算出している。

2 集計結果の分析等

この度の調査の集計結果について、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の成果指標とする行動をとっている人に見られる傾向などから、その数値を押し上げている主な要因、逆に伸びていない要因や課題などを探るため、例年2月に実施している調査と同様に広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動推進会議の委員でもある2名の有識者により、行動心理学並びに防災の観点からの分析等を行っていただいた。

(有識者) 広島大学大学院総合科学研究科 教授 坂田 桐子 氏(行動心理学)
山口大学大学院創成科学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏(防災)

3 行動計画に掲げる成果指標ごとの分析概要

(1)【行動目標】身の周りの災害危険箇所などを「知る」

行動計画に掲げる 成果指標項目	調査結果						H30(目標)	H32(目標)
	H26	H27(10月)	H28(8月)	H29(2月)	H30(2月)	H31(2月)		
災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認した人の割合	13.2%	27.0%	54.0%	60.5%	57.2%	71.2%	75.5%	90.0%以上

《災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認した人の割合の内訳》(単位：%)

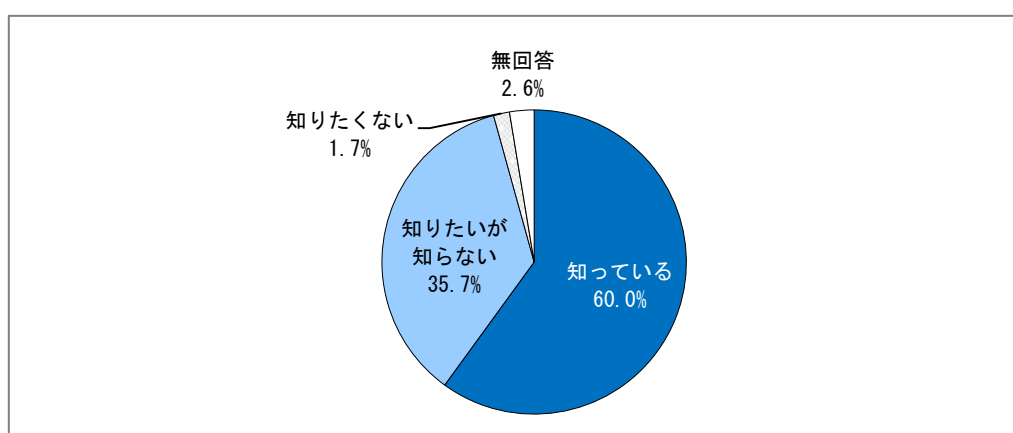
		全体	確認している	確認していない	無回答
全 体		100.0	71.2	27.4	1.4
年 代 別	20歳未満	100.0	82.8	17.2	0.0
	20代	100.0	56.7	41.8	1.5
	30代	100.0	66.0	32.5	1.6
	40代	100.0	72.3	27.0	0.7
	50代	100.0	72.6	25.7	1.7
	60代	100.0	73.2	25.9	0.9
	70代	100.0	74.2	23.6	2.2
	80歳以上	100.0	79.6	20.4	0.0
性 別	男性	100.0	70.6	28.1	1.2
	女性	100.0	71.9	26.7	1.5
生 活 形 態 別	企業・団体勤務	100.0	69.4	29.2	1.4
	自営業	100.0	74.9	23.8	1.3
	農林漁業	100.0	82.5	16.3	1.2
	家事や育児で在宅	100.0	72.4	26.8	0.8
	学生	100.0	69.6	30.4	0.0
	定年退職などで在宅	100.0	75.0	23.5	1.5
	その他	100.0	66.0	32.6	1.4

- 確認した人の割合について、生活形態(※)では、「農林漁業」が「82.5%」と最も多く、次いで「定年退職などで在宅」の「75.0%」となっている。

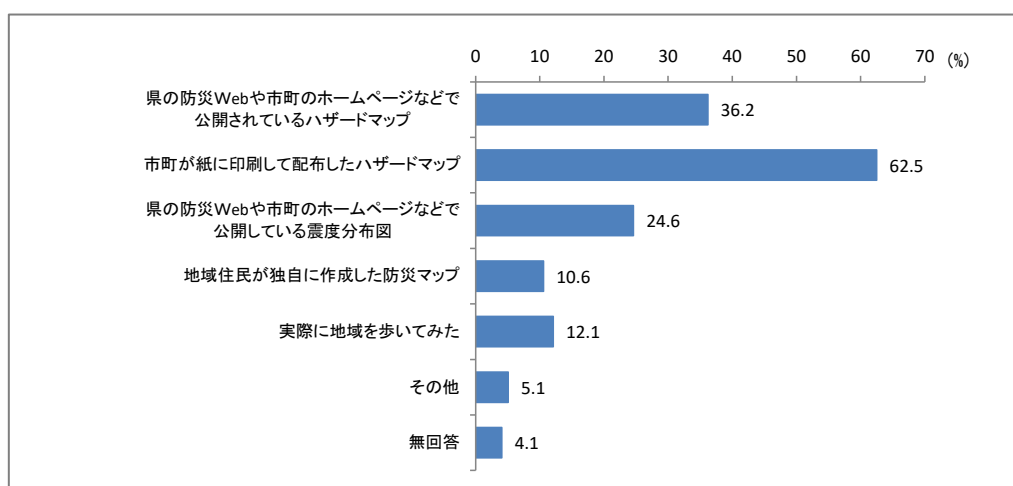
○ 災害の危険性を確認するに当たって、困っていることでは、「どうやって確認するかわからない」が「37.3%」で最も多く、次いで、「調べても県や市町などが提供する情報が分かりにくい」が「26.2%」となっている。前者と答えた割合が高いのは、「家事や育児で在宅」及び「定年退職などで在宅」、後者と答えた割合が高いのは、「農林漁業」となっている。

○ また、避難場所・避難経路を確認していない人について、生活形態別では、「学生」が「30.4%」と最も多く、次いで「企業・団体勤務」の「29.2%」となっている。

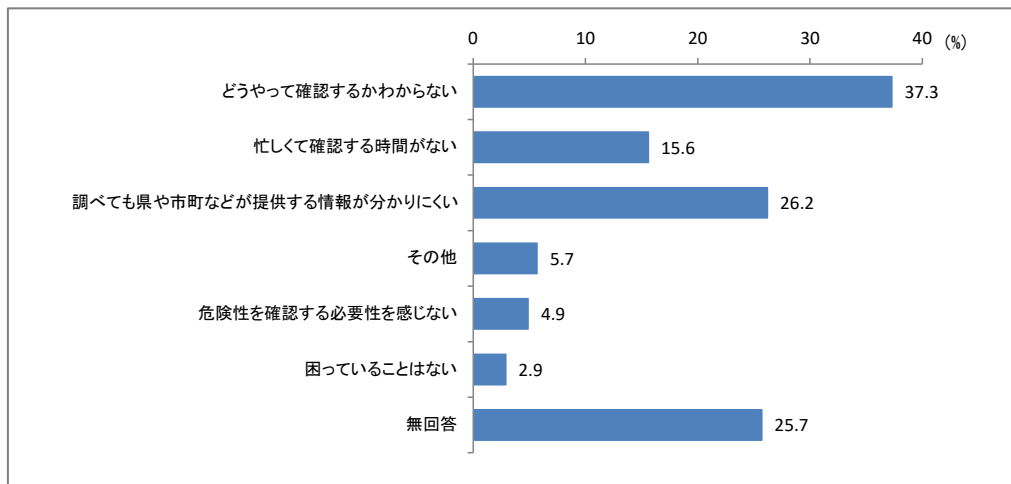
※ 生活形態の分類 ～ 「企業・団体勤務」、「自営業」、「農林漁業」、「家事や育児で在宅」、「学生」、「定年退職などで在宅」



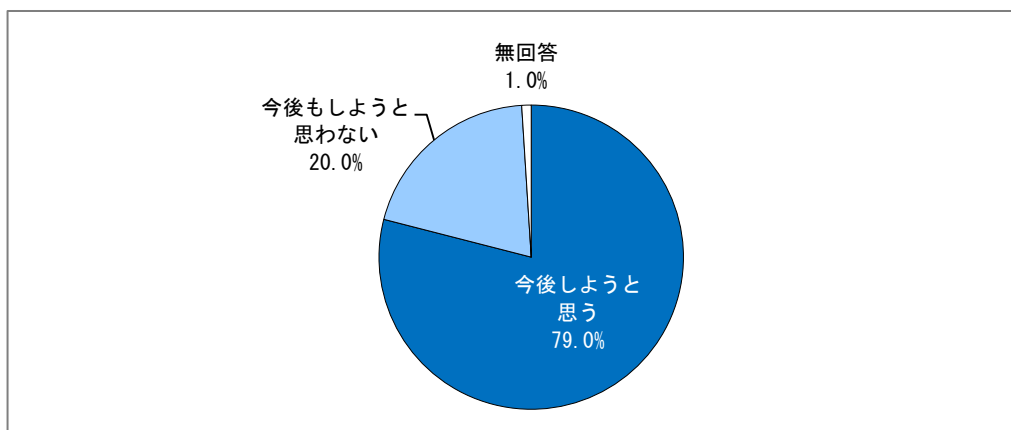
住んでいる場所の危険性の認知度（問 12）



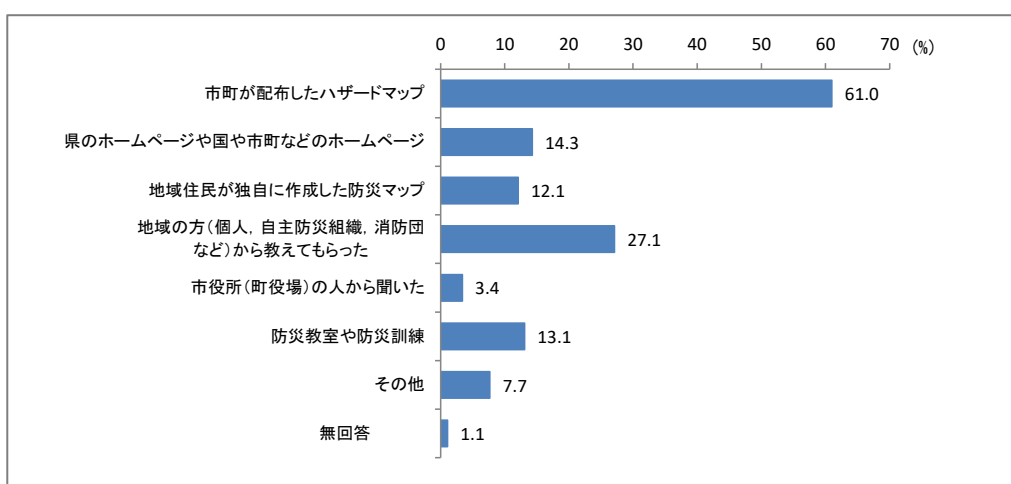
災害の危険性の確認方法（問 15）



災害の危険性を確認するに当たって、困っていること（問 16）



今後、「避難場所や避難経路の確認」をしようと思うか（問 2-1）



避難場所や避難経路の確認方法（問 2-2）

ア 有識者による分析や示唆など

- 平成 30 年の 7 月豪雨災害を受けて、避難場所・避難経路を確認した人が増えたのではないかと考えられる。
- 災害の種類に応じた避難場所・避難経路を知っている人の中には、実際に住んでいる地域に、どのような災害リスクがあるか正しく理解していない人もいるのではないかと。
- また、昨年 7 月のような豪雨が発生した際には、複数の災害が同時に、または時間差で生じ得ることや、自宅に危険が迫った時点で立ち退き避難を考えても、すでに道路は冠水して、避難不可能になるといったことが認識されていないのではないかと。
- 身の周りの災害リスクを確認する方法について、引き続き、各種メディア等を通じた、周知が必要である。
- 学校での防災教育を推進するとともに、企業・団体勤務者にあつては、職場における防災教室・訓練の開催などを通じて、避難場所・避難経路の確認を促すことが必要である。

イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- 民間会社と連携し、災害危険度情報等について、スマートフォンで確認できる仕組みを構築し、一層の周知を図る。
- 豪雨災害が発生した場合に、どのような状況になるのか、県民にリアルにイメージしてもらうような啓発の手法について検討する。
- 子育てサークルや高齢者サロン等における防災教室の、担い手育成や実践支援などを通じ、県内の地域コミュニティにおける避難場所・避難経路の確認の呼び掛けを促す。
- 引き続き、テレビ・ラジオ等の媒体を活用して、災害リスク等の発信を行うとともに、集客力のある既存のイベントに「みんなで減災」推進大使を派遣して行う防災教室等において、身の周りの避難場所・避難経路の確認を促す。
- 県下一斉に実施する「一斉防災教室」への一層の参加促進を図る。
- 企業従業員に対する取組として、商工会や商工会議所などの団体と連携し、各団体の広報ツールを活用した、中小企業従業員に対する、避難場所・避難経路の確認の働きかけを行う。

また、商工労働局と連携し、同局が主催するフォーラムや、企業訪問の機会を捉え、従業員への避難場所・避難経路の確認の働きかけを行う。

(2) 【行動目標】 災害発生危険性をいち早く「察知」する

行動計画に掲げる成果指標項目	H26	H27 (10月)	H28 (9月)	H29 (2月)	H30 (3月)	H31 (2月)	H30 (目標)	H32 (目標)
県、市町の防災情報メールを登録している人の割合	8.4%	10.4%	11.3%	11.3%	22.8% (※)	27.0% (※)	31.0%	40.0%

※ ヤフーと協議し、H30.3.27 から、「ヤフー・防災速報」(スマートフォンアプリ、メール)からも県防災情報メールと同様の情報がプッシュ配信されることとなったことから、この度の数値は、防災情報メールの登録者数に「ヤフー・防災速報」登録者数を加えて算出している。

《「防災情報メール」の登録意向》

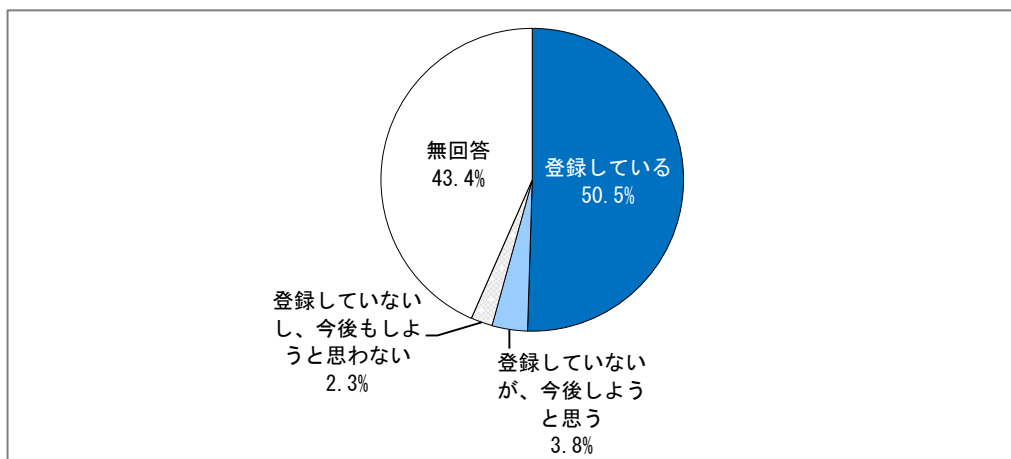
(単位：%)

		全体	登録している	登録していないが、今後しようと思う	登録していないし、今後もしようとは思わない	無回答
全 体		100.0	50.5	3.8	2.3	43.4
年 代 別	20歳未満	100.0	45.4	8.2	9.8	36.5
	20代	100.0	41.7	5.7	5.8	46.9
	30代	100.0	50.6	6.6	2.6	40.2
	40代	100.0	58.7	3.8	2.2	35.3
	50代	100.0	58.8	4.6	1.1	35.5
	60代	100.0	47.3	1.9	2.2	48.6
	70代	100.0	40.6	2.8	2.0	54.6
	80歳以上	100.0	17.2	7.3	0.0	75.5
性 別	男性	100.0	50.6	3.6	2.6	43.2
	女性	100.0	50.6	4.0	1.9	43.5
生 活 形 態 別	企業・団体勤務	100.0	54.0	4.5	2.4	39.1
	自営業	100.0	52.2	1.5	1.4	44.8
	農林漁業	100.0	42.3	2.3	2.7	52.7
	家事や育児で在宅	100.0	51.9	4.0	2.2	41.9
	学生	100.0	52.7	8.0	6.2	33.1
	定年退職などで在宅	100.0	40.8	2.8	1.9	54.5
	その他	100.0	40.7	2.6	1.8	54.9

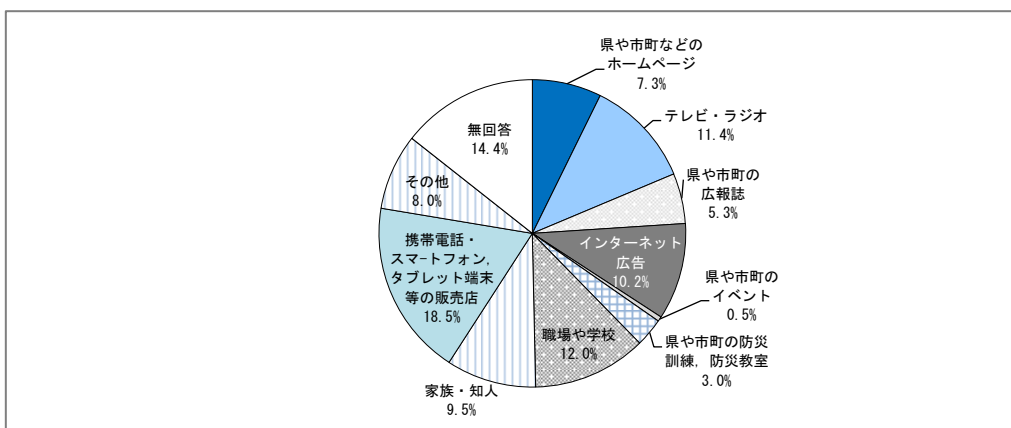
○ アンケートでは、携帯電話・スマートフォン、タブレット端末を持っている人(約9割)で、約5割「52.6%」が登録している。

○ 登録していない理由は、「登録方法を知らないから」が約5割「49.5%(57.2%※)」と最も多い。

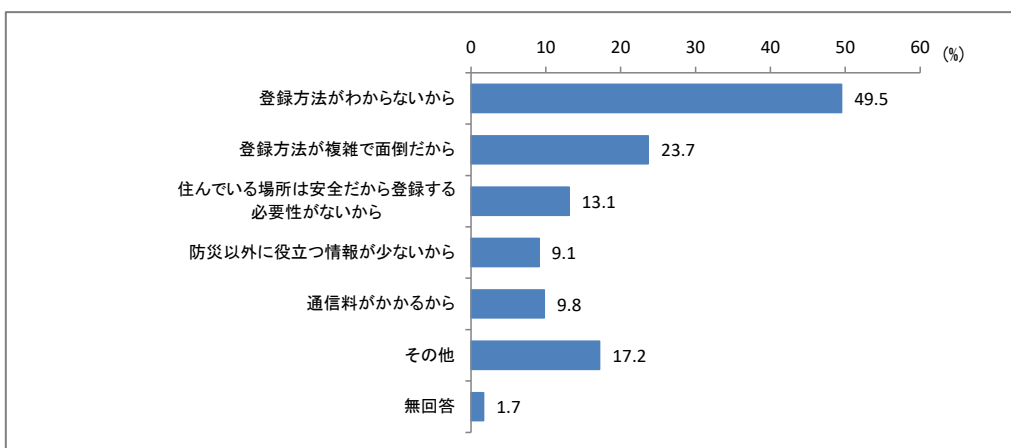
※ 「H31.2 調査数値(H30.2 調査数値)」



県、市町の防災情報メールの登録意向（問５）



県、市町の防災情報メールを登録した理由（問５－１）



県、市町の防災情報メールを登録していない理由（問５－２）

ア 有識者による分析や示唆など

- 高齢者の、携帯電話・スマートフォン等の保有率から考えてみても、防災情報メールの登録割合は、低いと言わざるを得ない。(70 歳代以上の保有率 85.9%)
- 市町の防災情報メールの登録者数の向上に寄与するのは、市町の力によるところが大きい。

イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- 防災情報メールについて、一人で登録することが困難な高齢者等に対しては、市町等の実施する防災イベント・防災講習や、地域行事などの場において、防災担当職員による登録支援などについて働きかけを行う。
- 地域の高齢者サロン等で行う防災教室において、参加者への防災情報メールの登録を働きかける。
- 大規模イベント等に参加して開催する防災教室等において、来場者に防災情報メールの周知を行うとともに、その場で登録していただいた方には、景品をプレゼントするなど、県民への防災情報メールの認知と登録者数の増につながる取組を行う。

(3) 【行動目標】 自ら判断して適切に「行動する」及び 防災教室や防災訓練などで「学ぶ」

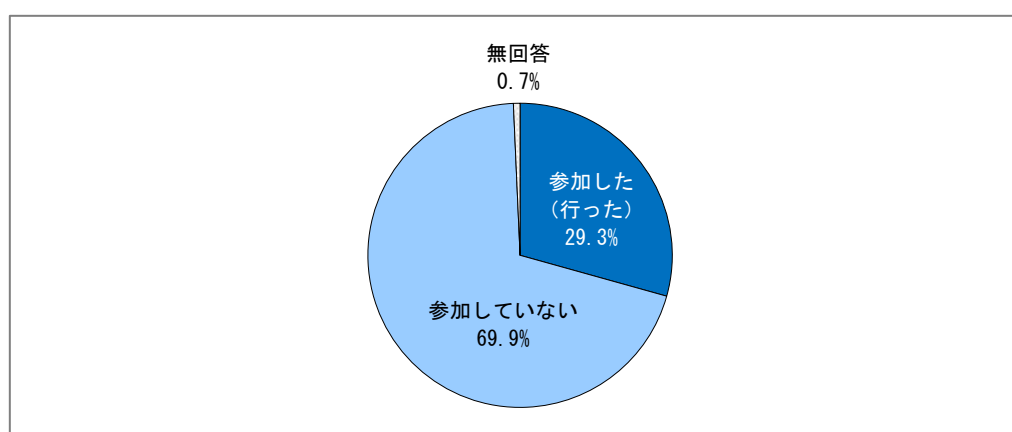
行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果						H30 (目標)	H32 (目標)
	H26	H27 (10 月)	H28 (8 月)	H29 (2 月)	H30 (2 月)	H31 (2 月)		
防災教室・防災訓練へ参加した人の割合	35.1%	30.7%	32.9%	36.8%	39.4%	29.3%	57.0%	60.0%

《防災教室・防災訓練へ参加した人の割合の内訳》

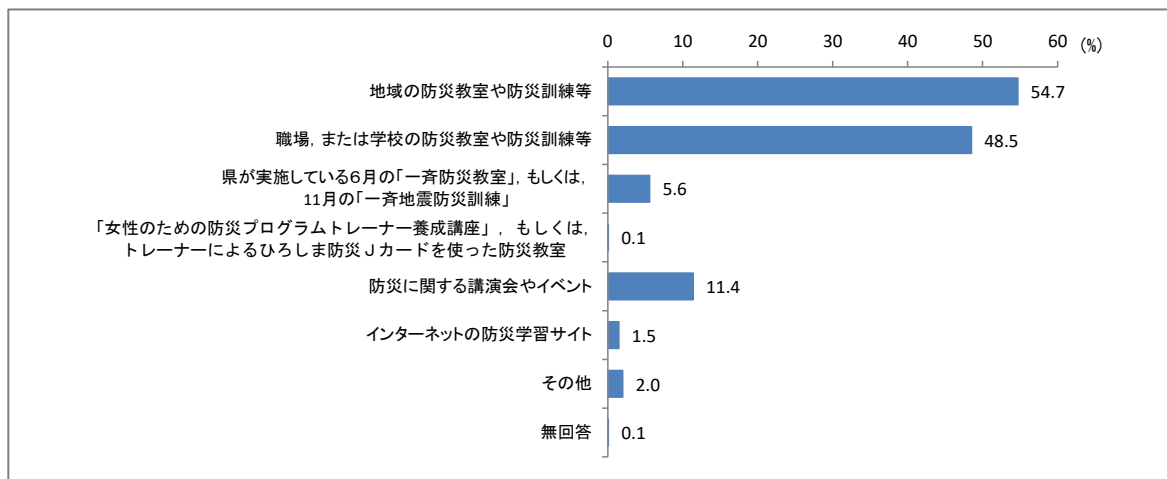
(単位：％)

		全体	参加した	参加していない	無回答
全 体		100.0	29.3	69.9	0.7
年 代 別	20 歳未満	100.0	50.6	49.4	0.0
	20 代	100.0	25.5	73.9	0.6
	30 代	100.0	30.6	69.4	0.0
	40 代	100.0	26.1	73.4	0.4
	50 代	100.0	29.7	69.9	0.4
	60 代	100.0	30.2	69.0	0.8
	70 代	100.0	31.8	66.8	1.4
	80 歳以上	100.0	20.1	79.9	0.0
性 別	男性	100.0	32.9	66.4	0.7
	女性	100.0	26.3	73.1	0.6
生 活 形 態 別	企業・団体勤務	100.0	32.5	66.9	0.6
	自営業	100.0	19.7	79.7	0.6
	農林漁業	100.0	35.3	63.5	1.3
	家事や育児で在宅	100.0	20.7	78.6	0.7
	学生	100.0	37.8	62.2	0.0
	定年退職などで在宅	100.0	31.7	67.3	1.0
	その他	100.0	18.7	81.0	0.3

- 防災教室・防災訓練への参加割合が低いのは、「自営業」で「19.7%」、次いで、「家事や育児で在宅」で「20.7%」となっている。
- 参加しなかった理由で、「学生」が「防災教室等や防災訓練等が実施していることを知らなかったから」と答えた割合は約1割「10.5%」と他の生活形態に比べ高くなっている。

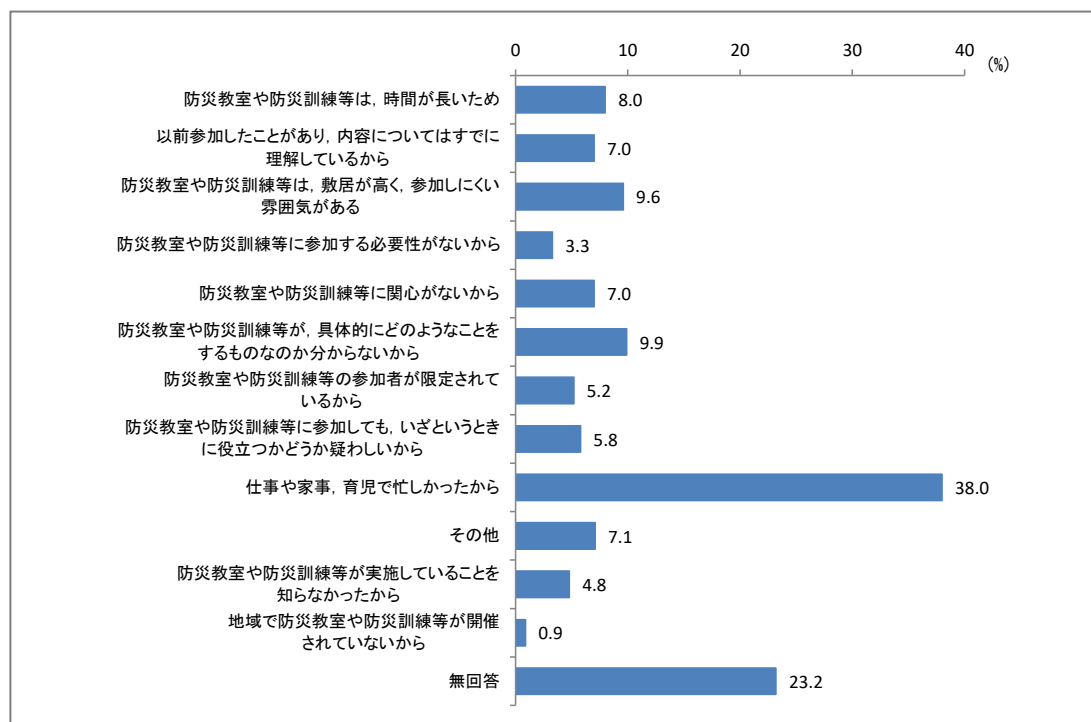


過去1年間における防災教室・防災訓練への参加の有無（問9）



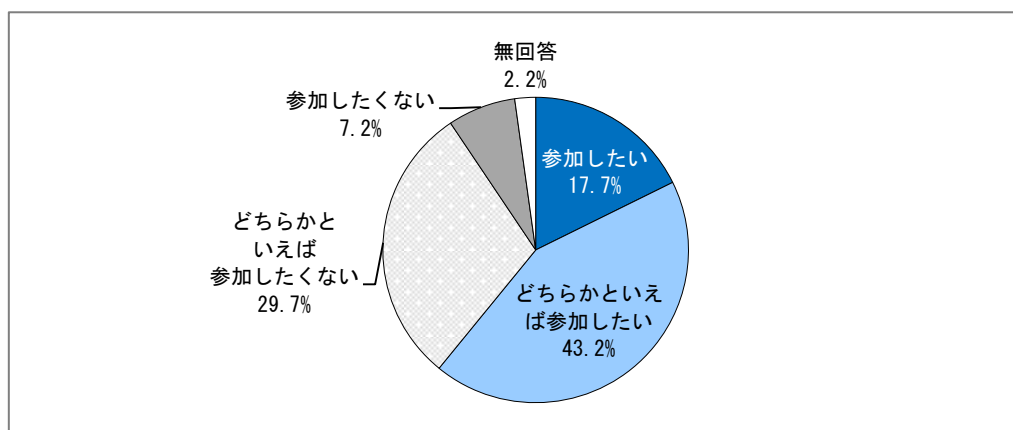
過去1年間に参加した防災教室・防災訓練（問9-1）

- 防災教室・訓練に参加しなかった理由で、「仕事や家事、子育てで忙しかったから」と時間的な制約を理由として参加しなかったのは、「企業・団体勤務（47.8%）」が最も高く、次いで「自営業（46.2%）」となっている。
- また、「以前参加したことがあり、内容についてはすでに理解しているから」は、「農林漁業（16.8%）」が最も高く、次いで「定年退職などで在宅（12.5%）」となっている。
- なお、防災教室等に参加しなかった人で、事前にわかっていれば『参加したい』（「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた割合）と答えた人が「60.9%」、『参加したくない』（「参加したくない」と「どちらかといえば参加したくない」を合わせた割合）が「36.9%」となっている。

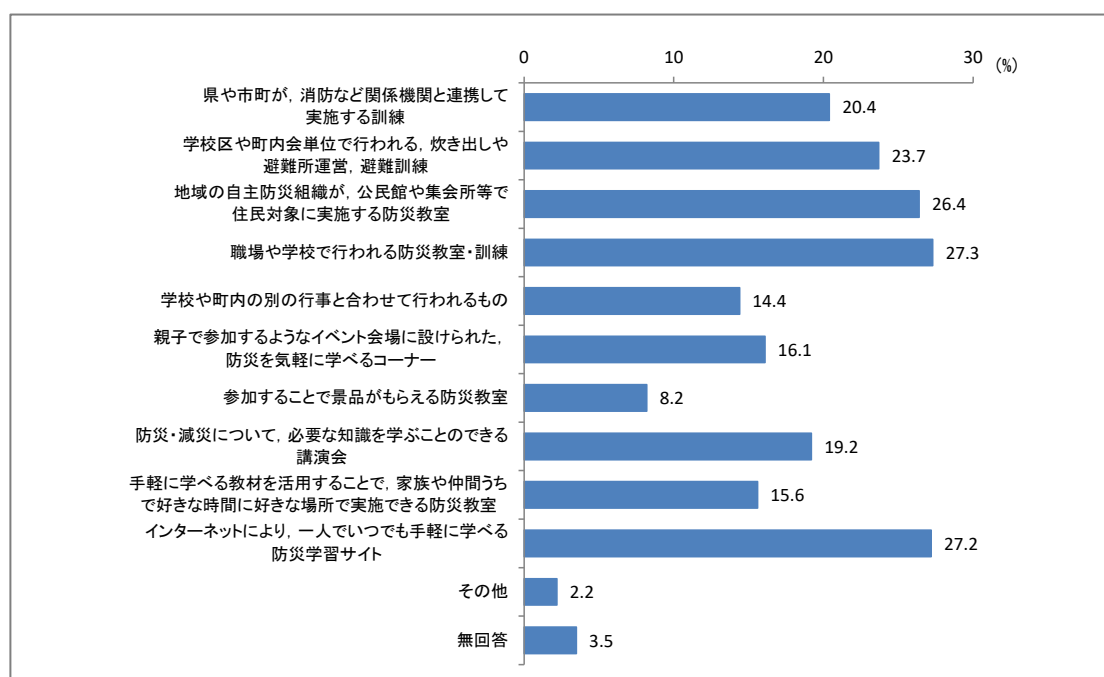


防災教室等に参加しなかった理由（問9-2）

- 参加しやすい防災教室等の形態として、「職場や学校で行われる防災教室・訓練」が「27.3%」と最も高く、次いで「インターネットにより、一人でいつでも手軽に学べる防災学習サイト」の「27.2%」となっている。
- 年代別では、60代以上は「地域の自主防災組織が、公民館や集会所等で住民対象に実施する防災教室」が割合が高く、それぞれ60代「38.1%」、70代「46.1%」、80代「45.1%」となっている。50代以下は、「職場や学校で行われる防災教室・訓練」が高く、それぞれ、20歳未満「53.5%」、20代「49.8%」、30代「43.1%」、40代「36.1%」、50代「36.1%」となっている。
- また、生活形態別では、企業・団体勤務者は、「職場や学校で行われる防災教室・訓練」が「41.3%」と最も高くなっている。「農林漁業」にあつては、「地域の自主防災組織が、公民館や集会所等で住民対象に実施する防災教室」が「55.9%」と最も高くなっている。



防災教室や防災訓練が事前にわかっていたら参加したいか(問10)



参加しやすい防災教室等の形態(問11)

ア 有識者による分析や示唆など

- 防災教室等への参加割合が伸びないのは、一度参加すれば、もう参加しなくても良いと考えている人が多いからではないか。
- あまり時間を費やすことなくできるような教室・訓練の企画が必要である。
- 企業・団体、学校にあっては、それぞれの場において、実践的な防災教室・訓練を実施し、参加を促すことが必要である。
- 学校行事で児童・保護者とが学ぶ防災教室のほか、就学施設や公民館など、生涯学習の場で行われる講座に併せて、継続的に防災教室を行うことが有効である。
- 独りで学べる、インターネット学習サイトを望む意見も多いことから、インターネット上で、防災訓練に参加したことと同等の知識を学べるメニューの普及が必要である。

イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- 地域で行われる防災教室等への県民の一層の参加を促進するとともに、高齢者サロン等多世代の住民が集まる場において、気軽に取り組めるような防災教室の普及に取り組む。
- 県下一斉に実施する「一斉防災教室」への一層の参加促進を図る。
- 企業従業員に対する取組として、商工会や商工会議所などの団体と連携し、中小企業における、防災教室や訓練の実施を働きかける。
また、商工労働局と連携し、同局が主催するフォーラムや、企業訪問の機会を捉え、中小企業における、防災教室や訓練の実施を働きかける。
- 県のポータルサイトに掲載した、いつでも自分で好きな時に学べる教材について、一層の活用が促進されるよう、更なる改良を加え、内容の充実を図る。
- 県内地域で行われているイベント・行事等の中で、防災について、親子で学べる場や機会の創出を行う。

(4) 【行動目標】 非常持出品を準備するなど災害に「備える」

行動計画に掲げる成果指標項目	調査結果						H30 (目標)	H32 (目標)
	H26	H27 (10月)	H28 (8月)	H29 (2月)	H30 (2月)	H31 (2月)		
非常持出品を用意している人の割合	52.8%	51.5%	65.9%	67.6%	67.4%	66.5%	—	—
上記を用意し、かつ3日分以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合	—	—	—	46.7%	50.5%	48.1%	58.4%	70.0%
家具等の転倒防止を行っている人の割合	—	—	—	43.9%	56.6%	44.7%	55.0%	70.0%

《非常持出品を用意している人の割合の内訳》

(単位：％)

		全体	用意して いる	用意して いない	無回答
全 体		100.0	66.5	31.9	1.5
年 代 別	20 歳未満	100.0	57.9	42.1	0.0
	20 代	100.0	48.9	49.6	1.4
	30 代	100.0	60.2	38.8	1.0
	40 代	100.0	62.8	35.5	1.6
	50 代	100.0	65.7	33.0	1.3
	60 代	100.0	72.0	26.5	1.5
	70 代	100.0	76.2	22.3	1.4
	80 歳以上	100.0	68.9	31.1	0.0
性 別	男性	100.0	68.2	30.7	1.1
	女性	100.0	65.2	33.2	1.6
生 活 形 態 別	企業・団体勤務	100.0	62.1	36.5	1.4
	自営業	100.0	72.1	27.3	0.6
	農林漁業	100.0	77.2	21.7	1.2
	家事や育児で在宅	100.0	73.6	24.6	1.8
	学生	100.0	60.3	37.0	2.7
	定年退職などで在宅	100.0	74.2	24.9	0.8
	その他	100.0	65.5	31.8	2.7

《非常持出品を用意し、3日分以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合の内訳》

(単位：％)

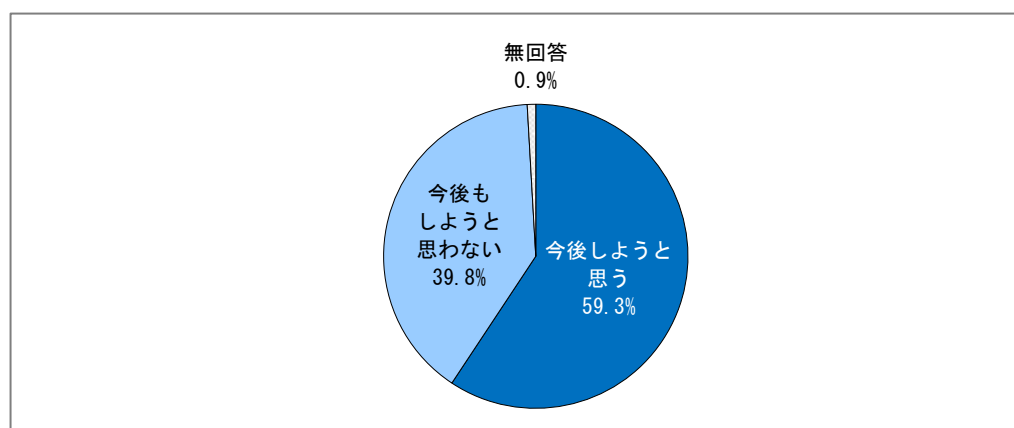
		全体	用意して いる	用意して いない	無回答
全 体		100.0	48.1	50.2	1.7
年 代 別	20 歳未満	100.0	30.1	69.9	－
	20 代	100.0	33.8	64.7	1.4
	30 代	100.0	43.4	55.2	1.4
	40 代	100.0	46.7	51.7	1.6
	50 代	100.0	45.9	52.6	1.4
	60 代	100.0	51.7	46.5	1.7
	70 代	100.0	57.0	41.2	1.8
	80 歳以上	100.0	60.7	39.3	－
性 別	男性	100.0	47.0	51.7	1.3
	女性	100.0	49.3	48.8	1.8
生 活 形 態 別	企業・団体勤務	100.0	43.6	54.8	1.5
	自営業	100.0	51.5	47.7	0.8
	農林漁業	100.0	51.6	46.1	2.3
	家事や育児で在宅	100.0	58.9	39.2	1.9
	学生	100.0	37.3	60.0	2.7
	定年退職などで在宅	100.0	56.0	42.8	1.2
	その他	100.0	46.8	50.4	2.7

《家具等の転倒防止の対策を行っている人の割合の内訳》

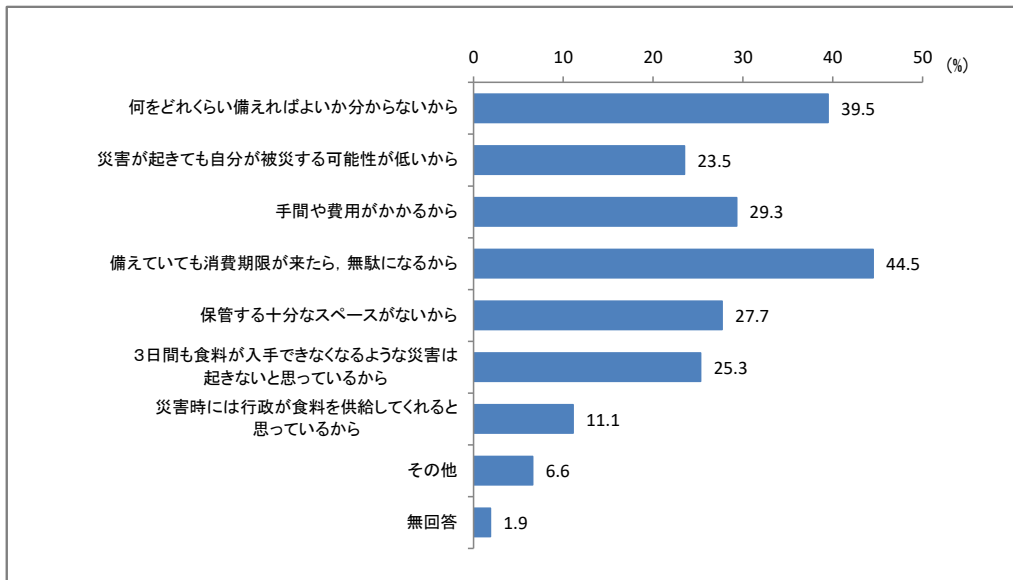
(単位：％)

		全体	対策して いる	対策して いない	無回答
全 体		100.0	44.7	54.7	0.6
年 代 別	20 歳未満	100.0	56.1	43.9	0.0
	20 代	100.0	36.9	63.1	0.0
	30 代	100.0	39.2	60.8	0.0
	40 代	100.0	43.0	56.3	0.7
	50 代	100.0	48.2	51.5	0.2
	60 代	100.0	43.8	55.7	0.5
	70 代	100.0	50.4	48.6	1.0
	80 歳以上	100.0	41.8	58.2	0.0
性 別	男性	100.0	45.5	54.0	0.5
	女性	100.0	44.0	55.6	0.4
生 活 形 態 別	企業・団体勤務	100.0	43.0	56.6	0.4
	自営業	100.0	48.8	50.7	0.6
	農林漁業	100.0	44.5	55.5	0.0
	家事や育児で在宅	100.0	49.2	50.6	0.2
	学生	100.0	46.2	53.8	0.0
	定年退職などで在宅	100.0	46.2	53.2	0.7
	その他	100.0	43.5	55.4	1.1

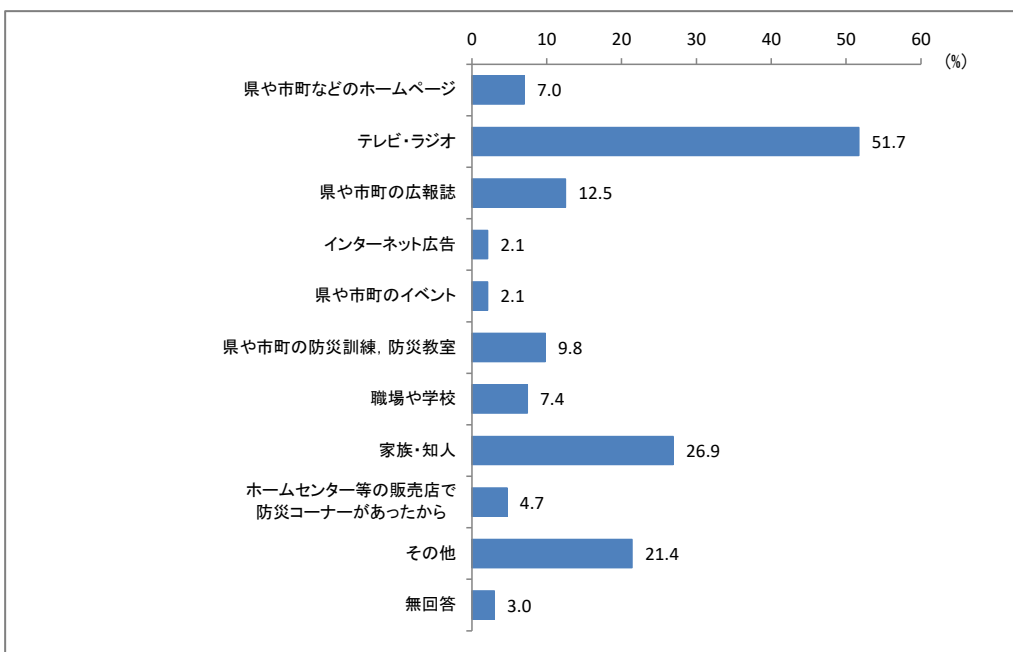
- 非常持出品を用意している人の割合について、学生や単身者の多い「20 歳未満 (57.9%)」, 「20 代 (48.9%)」を除くと, どの生活形態においても, ほぼ平均値及び平均値以上となっており, 男女の差異もほとんどない。
- 非常持出品を用意し, かつ 3 日分以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合も, 学生や単身者の多い「20 歳未満 (30.1%)」, 「20 代 (33.8%)」を除くと, どの生活形態においても, ほぼ平均値及び平均値以上となっており, 男女の差異もほとんどない。
- 家具等の転倒防止を行っていない人の割合は, 「20 代 (63.1%)」, 「30 代 (60.8%)」, 「80 歳以上 (58.2%)」で高くなっている。



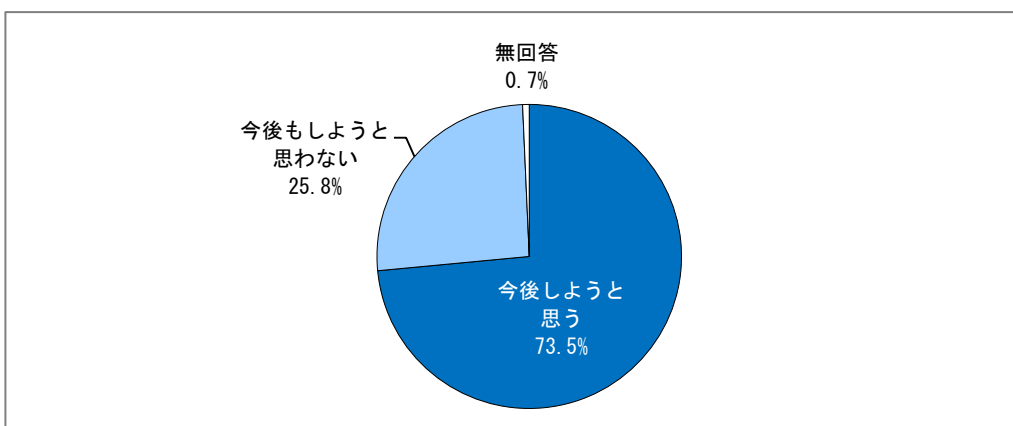
今後、備蓄の準備を行う意向 (問 6-1)



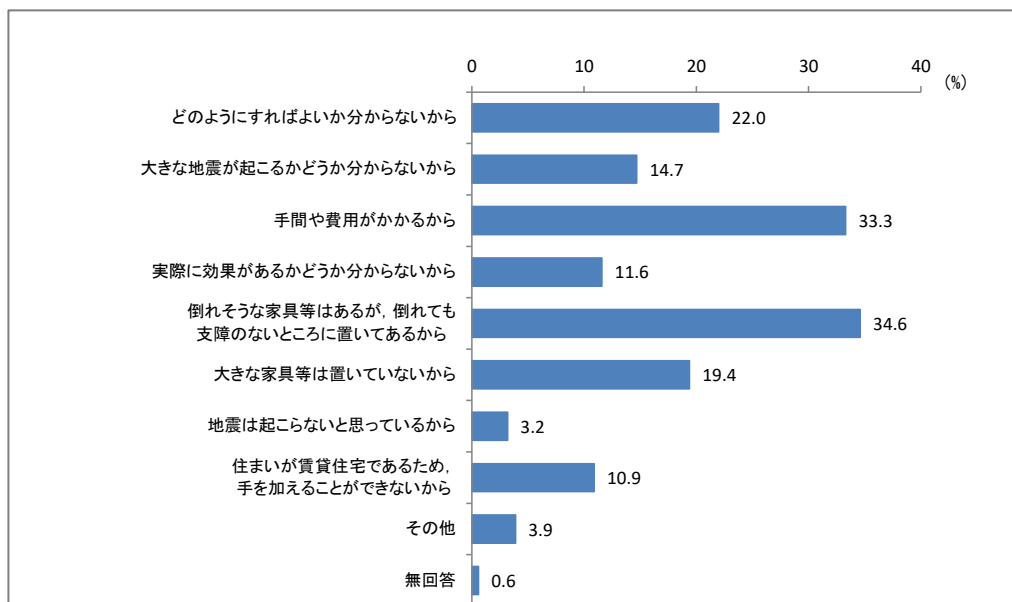
今後、備蓄を行わない理由（問 6-2）



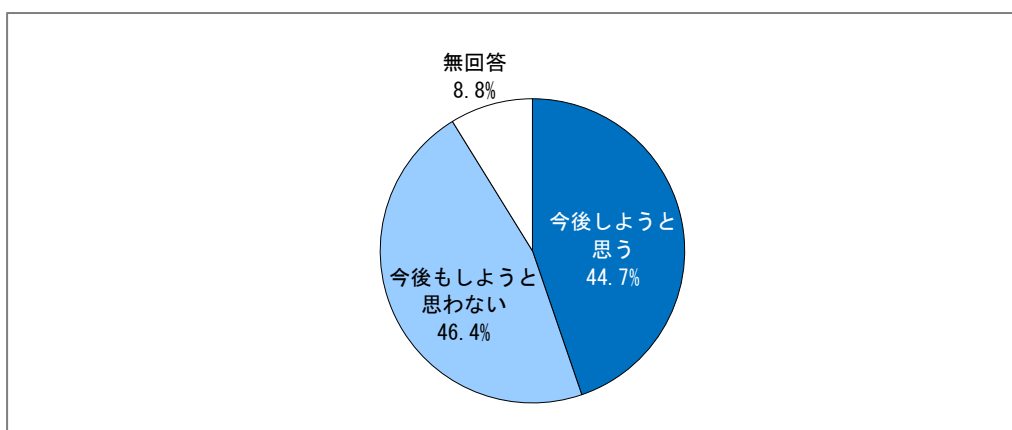
備蓄を行ったきっかけ（問 6-3）



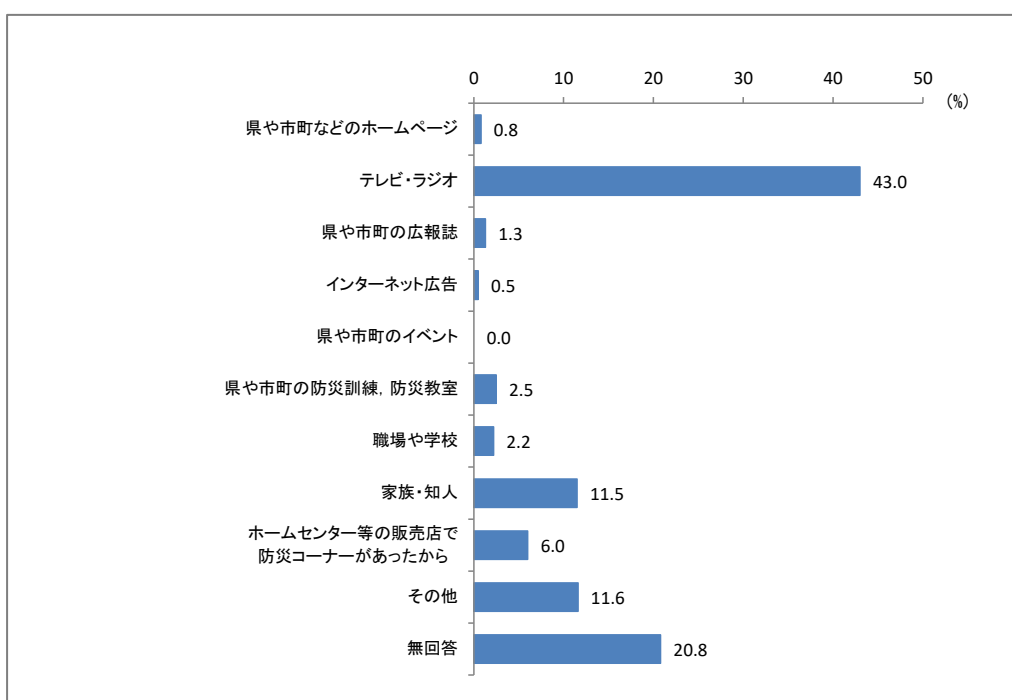
今後、非常用持出品の準備を行う意向（問 7-1）



家具などの転倒防止を行っていない理由（問 12-1）



今後、家具などの転倒防止を行う意向（問 12-2）



家具などの転倒の防止を行ったきっかけ（問 12-3）

ア 有識者による分析や示唆など

- 家具の転倒防止対策を行っている人の割合が下がっていることから，7月豪雨災害により，豪雨災害への備えに県民の意識が向かったことで，地震対策が疎かになっていることも考えられる。

イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- 「備えるフェア」等において，家具販売店と連携した，固定金具等の紹介と取り付けの促進に加え，新たにハウスメーカーとも連携し，家屋の耐震化と併せ，家具転倒防止対策の普及促進に取り組む。

調 査 票

防災・減災に関するアンケートへのご協力をお願い

この度の平成30年7月豪雨災害でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

広島県では、この度の災害を踏まえ県民の皆様お一人お一人に、いつ、どこで起きるかも分からない自然災害から、ご自分の命を守るための行動をとっていただくことができるよう、防災・減災に関する県民の皆様の意識や行動を把握するためのアンケート調査を実施することといたしました。

このアンケートは県内にお住まいの18歳以上の方10,000人を選挙人名簿から無作為に選んで行うものです。調査で得た結果はすべて統計的な処理を行いますので、個人が特定される形で公表することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、自然災害による死者ゼロの実現をめざすため、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、県民の皆様の防災・減災に対する意識や行動の変化を把握するため、本調査に加えて、同年秋頃にも避難行動に関するアンケートを実施する予定です。こちらも含めてご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

平成31年2月

広島県危機管理監減災対策推進担当

ご記入にあたってのお願い

- 質問は、全部で66問あります。ご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を確認いただき、ご家族の方等がご記入ください。
- 調査票や封筒にあなたのご住所、お名前を記入する必要はありません。
- 全体で15分程度かかります。
- ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をしてください。選択肢で「その他」を選択した場合は（ ）内に内容を具体的にご記入ください。
- ご回答は、設問ごとに（○は1つ）（○はいくつでも）など指定されていますので、ご注意ください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印に従ってお進みください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）で**3月22日（金）**までに投函してください。返送先は調査の実施・集計を委託している株式会社サーベイリサーチセンターになります。

広島県危機管理監減災対策推進担当

住 所：〒730-8511 広島市中区基町 10 番 52 号

電 話：082-513-2781

FAX：082-227-2122

Eメール：gensai@pref.hiroshima.jp



I あなたの災害に対する意識とご経験についてお尋ねします

問 1 あなたやあなたのご家族は、これまで、災害によって何らかの被害を受けたことがありますか。(○は1つ)

- 1 被害を受けたことがない
- 2それほど大きくはないが、被害を受けたことがある
- 3 比較的大きな被害を受けたことがある
- 4 非常に大きな被害を受けたことがある

問 2 平成 30 年 7 月豪雨災害より以前のことについてお尋ねします。

あなたは、それまで、豪雨の時、土砂崩れや浸水が始まる前に避難したことがありますか。(○は1つ)

- 1 避難場所へ避難したことがある
- 2 避難場所や自宅以外の安全な場所（知人や別居の親族宅など）へ避難したことがある
- 3 自宅の中の安全な場所へ避難したことがある
- 4 避難したことがない

【問 2 で「1 避難場所へ避難した」と回答した方へお尋ねします。】

問 2-1 避難した避難場所をお答えください。(○はいくつでも)

- 1 学校
- 2 公民館・集会所
- 3 福祉施設
- 4 役所・役場
- 5 コミュニティセンター
- 6 文化会館・スポーツセンター
- 7 その他（ ）

問 3 平成 30 年 7 月豪雨災害時のときのことをお尋ねします。

あなたは、豪雨の時、土砂崩れや浸水が始まる前に避難しましたか。

(○は1つ)

- 1 避難場所へ避難した
- 2 避難場所や自宅以外の安全な場所（知人や別居の親族宅など）へ避難した
- 3 自宅の中の安全な場所へ避難した
- 4 避難しなかった

【問 3 で「1 避難場所へ避難した」と回答した方へお尋ねします。】

問 3-1 避難した避難場所をお答えください。(○はいくつでも)

- 1 学校
- 2 公民館・集会所
- 3 福祉施設
- 4 役所・役場
- 5 コミュニティセンター
- 6 文化会館・スポーツセンター
- 7 その他 ()

問 4 平成 30 年 7 月豪雨以降から現在までのことについてお尋ねします。

あなたは、7 月豪雨災害以降、台風接近前や浸水が始まる前に避難したことがありますか。(○は 1 つ)

- 1 避難場所へ避難したことがある
- 2 避難場所や自宅以外の安全な場所（知人や別居の親族宅など）へ避難したことがある
- 3 自宅の中の安全な場所へ避難したことがある
- 4 避難したことがない

【問 4 で「1 避難場所へ避難した」と回答した方へお尋ねします。】

問 4-1 避難した避難場所をお答えください。(○はいくつでも)

- 1 学校
- 2 公民館・集会所
- 3 福祉施設
- 4 役所・役場
- 5 コミュニティセンター
- 6 文化会館・スポーツセンター
- 7 その他 ()

問5 避難場所のイメージをどう持たれていますか。各項目についてそれぞれ該当する番号1つに○をつけてください。(○は1つずつ)

○ 避難場所：

- ・災害の危険が差し迫った時など，緊急に避難する必要のある場合の避難先
- ・災害が起こって自宅に戻れない方などが，一時的に生活する場所は「避難所」

避難場所のイメージ	あてはまる	まやあてはまる	なあいてあまり	なあいてはまる
①トイレが不便	1	2	3	4
②プライバシーがない	1	2	3	4
③風呂に入れない	1	2	3	4
④エアコンが効かない	1	2	3	4
⑤自由に使える電源がない	1	2	3	4
⑥飲食物が手に入らない	1	2	3	4
⑦要配慮者（子どもや高齢者等）が居づらい	1	2	3	4
⑧ペットを連れていけない	1	2	3	4
⑨災害情報が入らない	1	2	3	4
⑩不衛生である	1	2	3	4

問6 あなたは、これまで、ご家族や友人や近所の方に避難を呼びかけたことがありますか。(○は1つ)

- 1 平成30年7月豪雨災害以前に呼びかけたことがある
- 2 平成30年7月豪雨災害時に初めて呼びかけたことがある
- 3 平成30年7月豪雨災害以降に初めて呼びかけたことがある
- 4 呼びかけたことがない

問7 あなたは、これまで、ご家族や友人や近所の方から避難を呼びかけられたことがありますか。(○は1つ)

- 1 平成30年7月豪雨災害以前に呼びかけられたことがある
- 2 平成30年7月豪雨災害時に初めて呼びかけられたことがある
- 3 平成30年7月豪雨災害以降に初めて呼びかけられたことがある
- 4 呼びかけられたことがない

問 8 あなたは、これまで、市役所、町役場、消防署や消防団の方から直接（訪問や電話で）避難を呼びかけられたことがありますか。（○は1つ）

- 1 平成 30 年 7 月豪雨災害以前に呼びかけられたことがある
- 2 平成 30 年 7 月豪雨災害時に初めて呼びかけられたことがある
- 3 平成 30 年 7 月豪雨災害以降に初めて呼びかけられたことがある
- 4 呼びかけられたことがない

問 9 あなたは普段、家族や地域の人々と、防災に関する話をすることがありますか。（○は1つ）

家族と	地域の人々と
1 まったくない	1 まったくない
2 たまに話をする	2 たまに話をする
3 ときどき話をする	3 ときどき話をする
4 しょっちゅう話をする	4 しょっちゅう話をする

問 10 あなたの災害に対する関心（我が身に置き換えてみるかどうか）や意識は、どの程度ありますか。各項目についてそれぞれ該当する番号 1 つに○をつけてください。

	あてはまる	るやあてはまる	いああまりはまらない	いあてはまらない
①広島県内で災害が発生した場合に関心を寄せる	1	2	3	4
②他の都道府県で災害が発生した場合に関心を寄せる	1	2	3	4
③全国（広島県内を含む）で発生した過去の災害を報道で見た場合に関心を寄せる	1	2	3	4
④災害が起きたらその時はその時だと思っている	1	2	3	4
⑤災害は起きても自分は大丈夫だと思っている	1	2	3	4

問 11 現在お住まいの地域（日常生活を営んでいる地域を指します。以下同じ）の過去の災害について、どのように知りましたか。（○はいくつでも）

- 1 家族から
- 2 近所の人から
- 3 防災教室・防災訓練で
- 4 災害碑から
- 5 テレビで
- 6 新聞で
- 7 県や市町のホームページで
- 8 その他（ ）
- 9 知らない

問 12 あなたのお住まいの場所では、どのような災害の危険性が想定されているか知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っている → 問 13 へ
- 2 知りたいが知らない → 問 16
- 3 知りたくない → 問 16

【問 12 で「1 知っている」と回答した方にお尋ねします。】

問 13 どのような災害による危険性を認知されましたか。(○はいくつでも)

- 1 土砂災害
- 2 洪水による浸水
- 3 高潮による浸水
- 4 津波による浸水
- 5 地震に伴う家屋等の倒壊など
- 6 危険性はない

問 14 あなたのお住まいの地域の災害の危険性の有無をどのようなきっかけで知りましたか。(○はいくつでも)

- 1 自分でパソコンを使ったり、人に聞いたりして調べた
- 2 家族に聞いた(話し合った)
- 3 地域の方(個人、自主防災組織、消防団)に教えてもらった
- 4 地域の住民ではない友人や知人に教えてもらった
- 5 市役所(町役場)の人に教えてもらった
- 6 職場で教えてもらった
- 7 学校で教えてもらった
- 8 自ら災害を経験した
- 9 家族(親戚)・知人が災害を経験した
- 10 その他()

問 15 災害の危険性の有無を確認した方法をお答えください。(○はいくつでも)

- 1 県の防災Web や市町ホームページなどで公開されているハザードマップ(※)
- 2 市町が紙に印刷して配布したハザードマップ(※)
- 3 県の防災Web や市町のホームページなどで公開している震度分布図、揺れやすさマップ、土砂災害危険箇所図、土砂災害警戒区域図・特別警戒区域図、洪水・高潮・津波浸水想定区域図等
- 4 地域住民が独自に作成した防災マップ
- 5 実際に地域を歩いてみた
- 6 その他()

※ ハザードマップ：自然災害(地震・津波・洪水・土砂災害等)による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被害想定区域や避難場所などを表示した市町が作成する地図

【全員にお尋ねします。】

問 16 災害の危険性の有無を確認するに当たって、困っていることをお答えください。
(○はいくつでも)

- 1 どうやって確認するかわからない
- 2 忙しくて確認する時間がない
- 3 調べても県や市町などが提供する情報が分かりにくい
- 4 その他()
- 5 危険性を確認する必要性を感じない
- 6 困っていることはない

Ⅱ あなたの災害に対する備えや災害時の行動についてお尋ねします

問 1 県では、平成 27 年 4 月から、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」を展開しています。この運動をご存じですか。下記の 5 つの行動目標を確認してお答えください。(○は 1 つ)

- 1 行動目標を含めて、知っていた
- 2 聞いたことはあるが、詳しくは知らなかった
- 3 まったく知らなかった

※ 5 つの行動目標

【災害から命を守るための行動】

1 「知る」 身の周りの災害危険箇所や災害の種類に応じた避難場所・経路の

2 「察知する」 危険を知らせる気象情報・避難情報を確認する。

3 「行動する」 災害から命を守るために自ら判断して適切に行動する。

【普段から災害に備えるための行動】

4 「学ぶ」 学校、職場、地域で行われる防災教室・防災訓練に参加する。

5 「備える」 非常持出品の準備。建物の耐震化や家具の転倒防止対策を進め

問2 あなたは、お住まいの地域で発生するおそれのある災害の危険性に応じた避難場所や避難経路の確認を行っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------|
| 1 まったくしていない | → 問2-1へ |
| 2 少しはしている | } 問2-2へ |
| 3 かなりしている | |
| 4 十分にしている | |

【問2で「1 まったくしていない」と回答した方にお尋ねします。】

問2-1 今後、「避難場所や避難経路の確認」をしようと思いますか。(○は1つ)

- 1 今後しようと思う
- 2 今後もしようと思わない

【問2で「2 少しはしている」「3 かなりしている」「4 十分にしている」と回答した方にお尋ねします。】

問2-2 避難場所、避難経路はどのような方法で確認しましたか。

(○はいくつでも)

- 1 市町が配布したハザードマップ
- 2 県のホームページや国や市町などのホームページ
- 3 地域住民が独自に作成した防災マップ
- 4 地域の方(個人、自主防災組織、消防団など)から教えてもらった
- 5 市役所(町役場)の人から聞いた
- 6 防災教室や防災訓練
- 7 その他()

【全員にお尋ねします。】

問3 災害が予見される場合に、気象情報や、大雨警報、避難情報などの防災情報をどのような方法で入手していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 テレビ | 7 スマートフォンなどに登録したアプリ |
| 2 テレビのデータ放送 | 8 ツイッターやフェイスブックなどのSNS |
| 3 ラジオ | 9 町内の人や消防団等からの連絡 |
| 4 インターネット | 10 その他() |
| 5 県や市町の防災情報メール | 11 入手していない |
| 6 市町の防災無線 | |

問4 あなたは、携帯電話・スマートフォンもしくはタブレット端末を持っていますか。(○は1つ)

- 1 スマートフォンもしくはタブレット端末を持っている
- 2 携帯電話を持っており、メール機能も使用している
- 3 携帯電話を持っているが、メール機能は、使用していない
- 4 いずれも持っていない

問5 あなたは、県又は市町の防災情報メールや防災アプリなどの登録を行っていますか。登録していない方は今後の登録意向をお答えください。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------------|---|-------|
| 1 県や市町の防災メール | } | 問5-1へ |
| 2 Yahoo!防災速報 | | |
| 3 NHK ニュース・防災アプリ | | |
| 4 goo 防災アプリ | | |
| 5 全国避難所ガイド | | |
| 6 その他(| } | 問5-2へ |
| 7 登録していないが、今後しようと思う | | |
| 8 登録していないし、今後もしようと思わない | | |

【問5で「1～6」と回答した方にお尋ねします。】

問5-1 防災情報メール、防災アプリなどを登録した理由、きっかけは何ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1 県や市町などのホームページ | 6 県や市町の防災訓練、防災教室 |
| 2 テレビ・ラジオ | 7 職場や学校 |
| 3 県や市町の広報誌 | 8 家族・知人 |
| 4 インターネット広告 | 9 携帯電話・スマートフォン、タブレット端末等の販売店 |
| 5 県や市町のイベント | 10 その他() |

【問5で「7 登録していないが、今後しようと思う」「8 登録していないし、今後しようと思わない」と回答した方にお尋ねします。】

問5-2 登録していない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1 登録方法がわからないから | 4 防災以外に役立つ情報が少ないから |
| 2 登録方法が複雑で面倒だから | 5 通信料がかかるから |
| 3 住んでいる場所は安全だから登録する必要性がないから | 6 その他() |

【全員にお尋ねします。】

問 6 あなたは、現在、3日分以上の食料や飲料水の備蓄を行っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----------|---|---------|
| 1 | まったくしていない | → | 問 6-1 へ |
| 2 | 少しはしている | } | 問 6-3 へ |
| 3 | かなりしている | | |
| 4 | 十分にしている | | |

【問 6 で「1 まったくしていない」と回答した方にお尋ねします。】

問 6-1 今後、「3日分以上の食料や飲料水の備蓄」を行おうと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-------------|---|---------|
| 1 | 今後しようと思う | → | 問 7 へ |
| 2 | 今後もしようと思わない | → | 問 6-2 へ |

【問 6-1 で「2 今後もしようと思わない」と回答した方にお尋ねします。】

問 6-2 今後、備蓄をしようと思わないのは、なぜですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 何をどれくらい備えればよいか分からないから |
| 2 | 災害が起きても自分が被災する可能性が低いから |
| 3 | 手間や費用がかかるから |
| 4 | 備えていても消費期限が来たら、無駄になるから |
| 5 | 保管する十分なスペースがないから |
| 6 | 3日間も食料が入手できなくなるような災害は起きないと思っているから |
| 7 | 災害時には行政が食料を供給してくれると思っているから |
| 8 | その他 () |

【問 6 で「2 少しはしている」「3 かなりしている」「4 十分にしている」と回答した方にお尋ねします。】

問 6-3 「3日分以上の食料や飲料水の備蓄」を行ったきっかけは、なんですか。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|----|---------------------------|
| 1 | 県や市町などのホームページ | 6 | 県や市町の防災訓練、防災教室 |
| 2 | テレビ・ラジオ | 7 | 職場や学校 |
| 3 | 県や市町の広報誌 | 8 | 家族・知人 |
| 4 | インターネット広告 | 9 | ホームセンター等の販売店で防災コーナーがあったから |
| 5 | 県や市町のイベント | 10 | その他 () |

【全員にお尋ねします。】

問 7 あなたは、現在、食料と飲料水以外の非常持出品（携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など）の準備を行っていますか。（○は1つ）

1 まったくしていない→問 7-1 へ

2 少しはしている

3 かなりしている

4 十分にしている

} 問 8 へ

【問 7 で「1 まったくしていない」と回答した方にお尋ねします。】

問 7-1 今後、食料と飲料水以外の「非常持出品（携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品など）の準備」を行おうと思いますか。（○は1つ）

1 今後しようと思う

2 今後もしようと思わない

【全員にお尋ねします。】

問 8 あなたのお住まいの地域、職場、学校で防災教室や防災訓練が実施されていることを知っていますか。（○は1つ）

1 知っている

2 知らない

問 9 あなたは、過去1年間に、ご自宅で防災学習を行ったり、地域、職場、あるいは学校で実施された、防災教室や防災訓練（消火訓練のみのものを除きます。以下同じ。）等に参加したりしたことがありますか。（○は1つ）

1 参加した（行った）⇒問 9-1 へ

2 参加していない⇒問 9-2 へ

【問 9 で「1 参加した（行った）」と回答した方にお尋ねします。】

問 9-1 あなたはどのような内容の防災教室や防災訓練等に参加しましたか。

（○はいくつでも）

1 地域の防災教室や防災訓練等

2 職場、または学校の防災教室や防災訓練等

3 県が実施している6月の「一斉防災教室」、もしくは、11月の「一斉地震防災訓練」

4 「女性のための防災プログラムトレーナー養成講座」、もしくは、トレーナーによるひろしま防災Jカードを使った防災教室

5 防災に関する講演会やイベント

6 インターネットの防災学習サイト

7 その他（

）

【問 9 で「2 参加していない」と回答した方にお尋ねします。】

問 9－2 防災教室や防災訓練等に参加されなかったのは、なぜですか。（○はいくつでも）

- 1 防災教室や防災訓練等は、時間が長いため
- 2 以前参加したことがあり、内容についてはすでに理解しているから
- 3 防災教室や防災訓練等は、敷居が高く、参加しにくい雰囲気があるから
- 4 防災教室や防災訓練等に参加する必要性がないから
- 5 防災教室や防災訓練等に関心がないから
- 6 防災教室や防災訓練等が、具体的にどのようなことをするものなのか分からないから
- 7 防災教室や防災訓練等の参加者が限定されているから
- 8 防災教室や防災訓練等に参加しても、いざというときに役立つかどうか疑わしいから
- 9 仕事や家事、育児で忙しかったから
- 10 その他（ ）
- 11 防災教室や防災訓練等が実施していることを知らなかったから
- 12 地域で防災教室や防災訓練等が開催されていないから

【全員にお尋ねします。】

問 10 今後、防災教室や防災訓練が行われることを事前にわかっていれば、参加したいですか。（○は 1 つ）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 参加したい | 3 どちらかといえば参加したくない |
| 2 どちらかといえば参加したい | 4 参加したくない |

問 11 あなたにとって、次のうちどのような形態の防災教室等が参加しやすい（取り組みやすい）ですか。（○はいくつでも）

- 1 県や市町が、消防など関係機関と連携して実施する訓練
- 2 学校区や町内会単位で行われる、炊き出しや避難所運営、避難訓練等
- 3 地域の自主防災組織が、公民館や集会所等で住民対象に実施する防災教室
- 4 職場や学校で行われる防災教室・訓練
- 5 学校や町内の別の行事と合わせて行われるもの
- 6 親子で参加するようなイベント会場に設けられた、防災を気軽に学べるコーナー
- 7 参加することで景品がもらえる防災教室
- 8 防災・減災について、必要な知識を学ぶことのできる講演会
- 9 手軽に学べる教材を活用することで、家族や仲間うちで好きな時間に好きな場所で実施できる防災教室
- 10 インターネットにより、一人でいつでも手軽に学べる防災学習サイト
- 11 その他（ ）

問 12 あなたは、今現在、家具などの転倒の防止(※)を行っていますか。(○は1つ)

1 まったくしていない→問 12-1 へ

2 少しはしている
3 かなりしている
4 十分にしている } 問 12-3 へ

※ 家具などの転倒の防止…金具や「突っ張り棒」、ベルト等による家具固定、転倒防止板の挟み込みなどによる対策のほか、寝室にはできるだけ家具を配置しないなど、地震によって家具等の下敷きにならないための備えも含む

【問 12 で「1 まったくしていない」と回答した方にお尋ねします。】

問 12-1 家具などの転倒防止を行っていないのはなぜですか。(○はいくつでも)

- 1 どのようにすればよいか分からないから
- 2 大きな地震が起こるかどうか分からないから
- 3 手間や費用がかかるから
- 4 実際に効果があるかどうか分からないから
- 5 倒れそうな家具等はあるが、倒れても支障のないところに置いてあるから
- 6 大きな家具等は置いていないから
- 7 地震は起こらないと思っているから
- 8 住まいが賃貸住宅であるため、手を加えることができないから
- 9 その他()

問 12-2 今後、家具などの転倒防止を行おうと思いますか。(○は1つ)

- 1 今後しようと思う
- 2 今後もしようと思わない

【問 12 で「2 少しはしている」「3 かなりしている」「4 十分にしている」と回答した方にお尋ねします。】

問 12-3 「家具などの転倒の防止」を行ったきっかけは何ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1 県や市町などのホームページ | 6 県や市町の防災訓練、防災教室 |
| 2 テレビ・ラジオ | 7 職場や学校 |
| 3 県や市町の広報誌 | 8 家族・知人 |
| 4 インターネット広告 | 9 ホームセンター等の販売店で防災コーナーがあったから |
| 5 県や市町のイベント | 10 その他() |

Ⅲ あなたのことについてお尋ねします

問 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- 1 男性 2 女性

問 2 あなたの年齢はいくつですか。(平成 31 年 2 月 1 日時点)

() 歲

問3 主としてどのような生活形態ですか。(○は1つ)

- 1 企業・団体等で勤務している（正規の従業員、パート、派遣社員など）
- 2 自営業を営んでいる、または手伝っている
- 3 農・林・漁業を営んでいる、または手伝っている
- 4 家事や育児、または介護などで在宅している
- 5 学生
- 6 定年退職などで在宅している
- 7 その他（ ）

問4 現在あなたが同居しているご家族の家族構成は、次のうち、どれですか。
(○は1つ)

- 1 単身
- 2 あなたと（両）親
- 3 あなたと配偶者のみ
- 4 あなたと配偶者と子供
- 5 あなたと子供（配偶者なし）
- 6 あなたと配偶者といずれかの（両）親
- 7 あなたと配偶者と子供といずれかの（両）親
- 8 あなたと配偶者と子供といずれかの（両）親といずれかの兄弟姉妹
- 9 あなたと友達
- 10 その他（ ）

問5 現在のあなたの世帯の人数はあなたを含め何人ですか。

()人

問 6 現在、あなたご自身を含め、同居しているご家族の中に、次の方やペットがいますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1 80 歳以上の人 | 5 障がいのある人もしくは体が不自由な人 |
| 2 小学生・中学生 | 6 病気の人 |
| 3 未就学児童(3～5 歳) | 7 ペット |
| 4 乳児(3 歳未満) | 8 いずれもない |

問 7 あなたの世帯収入(平成 30 年の税込年間総収入でボーナスを含む)は、どのくらいになりますか(学生の方はご実家の収入をお答えください)。以下から最も近いものを選んでください。(○は 1 つ)

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1 100 万円未満 | 8 700 万円以上 800 万円未満 |
| 2 100 万円以上 200 万円未満 | 9 800 万円以上 900 万円未満 |
| 3 200 万円以上 300 万円未満 | 10 900 万円以上 1,000 万円未満 |
| 4 300 万円以上 400 万円未満 | 11 1,000 万円以上 1,200 万円未満 |
| 5 400 万円以上 500 万円未満 | 12 1,200 万円以上 1,500 万円未満 |
| 6 500 万円以上 600 万円未満 | 13 1,500 万円以上 |
| 7 600 万円以上 700 万円未満 | |

問 8 あなたの最終学歴(在学中の人はその学校)は、次のうち、どれですか。(○は 1 つ)

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1 小学・中学 | 6 短大 |
| 2 高校・旧制中 | 7 高専 |
| 3 専門学校(修学年限、1 年以上 2 年未満) | 8 大学 |
| 4 専門学校(修学年限、2 年以上 4 年未満) | 9 大学院 |
| 5 専門学校(修学年限、4 年以上) | |

問 9 あなたのお住まいの居住年数と居住形態を教えてください。

(①, ②, ④の()には数字を記入し, ③, ④は○は 1 つ)

①居住年数	(年)
②この地域に 代々住んでい る年数	(年)
③ご自宅の種類	1 持家 2 賃貸 3 社宅 4 その他
④居住形態	1 一戸建て木造(築 年) 2 一戸建て鉄骨造住宅(築 年) 3 ()階建ての集合住宅の()階(築 年)

問 10 あなたは、消防団や消防をどの程度、信頼していますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 信頼している | 3 どちらかといえば信頼してしない |
| 2 どちらかといえば信頼している | 4 信頼していない |

問 11 あなたは、市町や県をどの程度、信頼していますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 信頼している | 3 どちらかといえば信頼してしない |
| 2 どちらかといえば信頼している | 4 信頼していない |

問 12 万一の時、地域の人々は助けてくれると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1 思う | 3 あまり思わない |
| 2 やや思う | 4 思わない |

問 13 避難するかどうかの判断をする際に、行政が発する災害情報をどの程度参考にしますか(○は1つ)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1 かなり参考にする | 3 どちらかといえば参考にしない |
| 2 どちらかといえば参考にする | 4 全く参考にしない |

問 14 災害時や緊急時、あなたの家の中のことは、だれが決めますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1 自分が決める | 3 相談して決める |
| 2 自分以外の家族が決める | 4 特に決めていない |

問 15 以下の事柄についてそれぞれ該当する番号 1 つに○をつけてください。

(○は1つずつ)

	あてはまる	ややあてはまる	あてはまらない	あてはまらない
①何事も早めの行動を心がけている	1	2	3	4
②いつも計画を立てたとおりに行動する	1	2	3	4
③明日に伸ばしても大丈夫なことは明日する	1	2	3	4
④計画を立てても、ずるずると先延ばししてしまう	1	2	3	4

問 16 あなたは、町内会・自治会に入っていますか。

また、町内の人々とどれくらい親しく付き合っていますか。(○は1つ)

- 1 町内会・自治会に入っていて、町内に親しく付き合っている人がいる
- 2 町内会・自治会に入っていて、会えば挨拶をする程度の人がある
- 3 町内会・自治会に入っているが、町内の人と付き合いがない
- 4 町内会・自治会に入っていないが、町内に親しく付き合っている人がいる
- 5 町内会・自治会に入っていないが、会えば挨拶をする程度の人がある
- 6 町内会・自治会に入っておらず、町内の人と付き合いがない

問 17 地域での防災活動への関わりについて教えてください。(○はいくつでも)

- 1 自主防災組織で活動している
- 2 自主防災組織や町内会で役員等をしている
- 3 消防団、または水防団に所属している
- 4 町内の避難訓練等があれば、参加する程度である
- 5 町内でイベントや教室があれば、参加する程度である
- 6 その他()
- 7 全く関わりはない

問 18 あなたの町内では、防災活動(防災訓練(避難訓練、炊き出し訓練、救助訓練など(消火訓練のみは除く。)), 防災に関する啓発・学習活動など)は活発ですか。

(○は1つ)

- 1 活発
- 2 やや活発
- 3 あまり活発でない
- 4 活発でない
- 5 防災活動を行っているのを見たことがない

問 19 県では、災害から命を守るために、県民のみなさんにとっていただきたい行動などを分かりやすく掲載した、ホームページ「みんなで減災 はじめの一步」を開設しています。このホームページについてご存知ですか。(○は1つ)

- 1 知っており、利用したことがある
- 2 聞いたことはあるが、利用したことはない
- 3 聞いたことがない

問 20 防災・減災について自由なご意見をお願いします。

--

Ⅳ 災害時の避難行動についてお尋ねします

○ 避難勧告

- ・災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合、市町から発令される避難情報で、速やかに避難場所へ避難すべき状況

○ 避難指示

- ・災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合、市町から発令される避難情報で、緊急に避難場所へ避難すべき状況

※外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難

下記の【状況】を想定し、質問にお答えください。

状況

あなたは現在自宅で過ごしています。あなたのお住まいの地域では前日から非常に激しい雨が降っており、河川の氾濫や土砂災害の恐れがあります。時間帯は昼間で、避難場所までの移動中の安全性は確保されているものとします。

問 1 これまで豪雨時に避難勧告で避難した人は、まわりの人が避難していたから避難したという人がほとんどでした。あなたが避難することは人の命を救うことになります。

この状況で、避難勧告が発令された際、あなたは 1～4 のどの行動をとりますか。
(○は 1 つ)

- 1 避難場所へ避難しようと思う
- 2 避難場所や自宅以外の安全な場所（知人や別居の親族宅など）へ避難しようと思う
- 3 自宅の中の安全な場所へ避難しようと思う
- 4 避難しないと思う

【問 1 で「4 避難しないと思う」と回答した方にお尋ねします。】

問 2 その理由を 1～15 の中からお選びください（○は複数可）。

- 1 これまで災害にあったことがないから
- 2 避難場所が遠いから
- 3 避難の必要がないと思ったから
- 4 自宅が安全だと思っているから
- 5 動きがとれない家族やペットがいるから
- 6 自主防災組織や消防団員などから避難を勧められていないから
- 7 避難経路に危険性があるなど、避難する方がかえって危険だと思ったから
- 8 避難場所を知らないから
- 9 避難場所での滞在が不安だから
- 10 自宅や家財を守りたいから
- 11 死ぬときは自宅で死にたいから
- 12 大雨の中避難する体力がないから
- 13 自分が避難することと他の人の命を救えることに関係があると思えないから
- 14 自宅の立地条件から被害が出ないと思うから
- 15 その他（ ）

問 3 避難勧告が避難指示に変更になったとします。あなたは、あなたは 1～4 のどの行動をとりますか。（○は 1 つ）

- 1 避難場所へ避難しようと思う
- 2 避難場所や自宅以外の安全な場所（知人や別居の親族宅など）へ避難しようと思う
- 3 自宅の中の安全な場所へ避難しようと思う
- 4 避難しないと思う

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。